

しかはま自然観察会  『人も 自然も みんなともだち !』No.16	代表責任者 古高 利男 ☎270-1132 我孫子市湖北台 2-14-7 ☎090-7275-9890 2014, 1, 11 (土)
---	--

第16回活動「凧作り」

- ・・・お正月の空に、凧を揚げてみよう！
- ・・・三角定規やハサミを使って、凧をつくってみよう！

1, 日 時：2014年1月11（土）午前10：00～12：00

2, 天 気：暖かな、小春日和

3, 場 所：上沼田小学校理科室

4, 参加者：家族2 内訳 大人 1
 小学生 2
 幼 児 1
 合 計 4 スタッフ2 総計6

5, 活動の様子

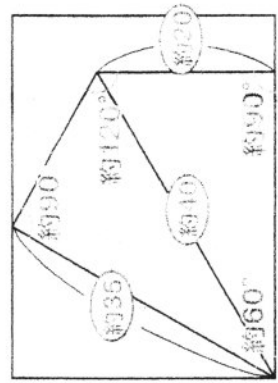
- 上沼田小学校以外は、すべて土曜授業の日でした。「正月早々、土曜授業はないだろう。」と考えたのですが、大きな間違いでした。「土曜日の授業が、どの学校もまちまちなので、こまります」という保護者（上沼田小）の話に、妙に納得していました。
- 少ない人数は、ゆっくり・じっくりできました。ていねいに活動をすすめられました。
- 足立区報にでていた（平成21年）「作り方」をモデルにしました。この凧作りは、区報と三角定規、ハサミがあればすぐにできてしまうというものです。
- 三角定規をどのように工夫してつかうかが、キーポイントです。それ故、小学校5／6年生に最適な教材といえます。
- 切り残した紙片も、角度を推測すれば、のりしろに利用できるのです。セロハンテープは、いっさい使いません。
- 校庭で揚げてみました。風のあまりない暖かな日でしたが、元気よく走りながら揚げました。

6, 親と子のいきいき感想

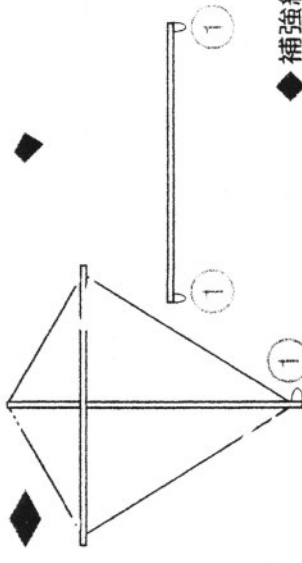
- たこ、おもしろかった。たこ、つくった。 年長
- たこの糸をはらないと、とばないとは思わなかった。
 たこのしっぽをちょうせつして、飛ばなかったり飛んだりでした。
 たこあげや とばすのできない むずかしい 上沼田小4年
- たこを上げた時にしっぽが長くて、そんなにとばなかったけれど、しっぽを一まい切ったら、よくとんだ。
 たこ上げて しっぽをきったら よくとんだ 上沼田小2年

凧の作り方

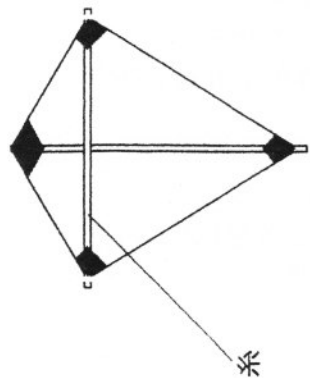
読み終わったあだち広報や和紙など／凧糸(太い三シン糸でも代用可)／平竹ひご2本(ホームセンターなどで購入可)／木工用接着剤



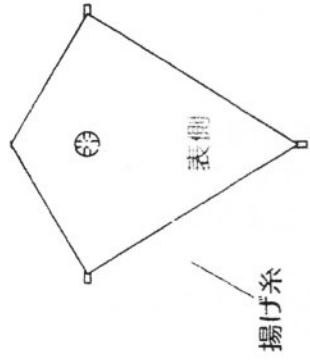
読み終わった「あだち広報」などを図のような比率で切り抜く(大きい方が安定しやすい)。



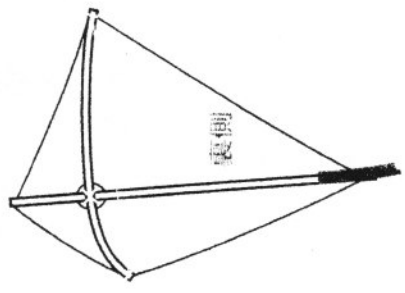
◆補強紙
竹ひごに接着剤を付けて、2つの対角線に重なるように図のように貼る。縦の竹ひごは下の部分をはみ出させ、横の竹ひごは左右をはみ出させる。 ※四隅に補強紙を貼ると丈夫になる。



横の竹ひごの片端に糸を結び、糸がピーンと張るように反対側の端で結ぶ。

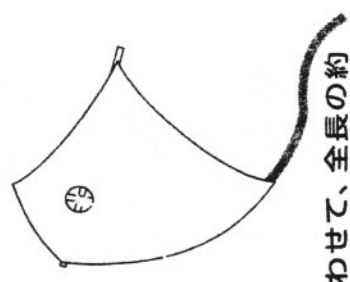


竹ひごが交差する部分に穴を開け、揚げ糸を縦の竹ひごと横の竹ひごにかかるように、凧の表側で結ぶ。



※揚げるときは、で裏側に張った糸を横に貼った竹ひごのはみ出た部分に3回程度巻き付けて弦のように張り、横の竹ひごを裏側で弓のように反らせる。

※人の多い場所や電線のある場所、凧揚げが禁止されている場所で揚げるのはやめましょう。



紙を接着剤で貼り合わせて、全長の約15分の1の幅で凧の尻尾(凧の全長の約4倍の長さ)を作り、凧の裏側に貼る。